

わたしは羊の商人のために、ほふるべき羊の群れの牧者となった。わたしは二本のつえを取り、その一本を恵みと名づけ、一本を結びと名づけて、その羊を牧した。(7)

神殿再建後、民の生活は再び乱れて行きました。その原因の一つは、民を正しく導く良き牧者がいなかったからです。指導者たちは私利私欲のために政治を行っていたのです。

そこで主は、ゼカリヤに良き牧者として働くように命じられました。「ほふるべき羊の群れの牧者となれ」(4)。ゼカリヤは「恵み」と「結び」と名付けられた二本の杖をもつて羊の群れを養いました。しかし、ゼカリヤはあまりにも不真面目な民に我慢できなくなり、持つていた杖を折つて彼らの牧者であることをやめてしまいます。イスラエルの指導者たちや民も、この良き牧者を拒絶しました。彼らは羊を飼った報酬として、ゼカリヤに最後に銀三十シケルを支払いました。この捨てられた良き牧者は、真の良き牧者であるキリストの姿を預言するものでした。飼う者のいない羊たちを養うためにこの世に来られたキリストは、人々から拒絶され、最後には銀三十枚で売り渡されたのです(マタイ二六15)。神が遣わされた牧者を拒絶する民の姿は、いつの時代にも変わることはありませんでした。

ベツレヘムに誕生された救い主は、わたしたちの良き牧者として神から遣わされたお方です。この良き牧者に従っていく人生は、豊かな命が与えられる人生となります。主イエスをわたしたちの全生活の主として喜んでお迎えしようではありませんか。